



日本共産党 中野区議会議員
作業療法士

浦野さとみの区政報告

ほっこり通信

No. 108

何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784
LINEのチャットもご利用ください

相談フォーム



Twitter



Instagram



LINE



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



寄せられる声に学び、あきらめず調査を重ね、

ともに力をあわせてきました。

議会質問の原点は、あなたの声です



▲薬師あいロード商店街内のレンタルスペースをお借りしての相談会。1月と2月、計4回おこないました。3月25日(土)および4月1日(土)の10:00~12:00も開催します。

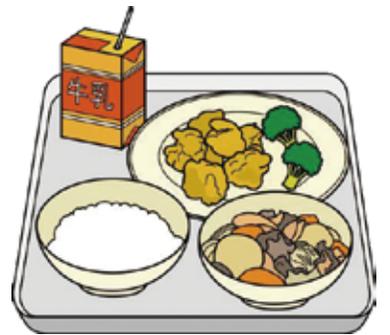
コロナ禍に加え、物価高騰が暮らしや生業に影響を与える中、深刻な生活相談が寄せられ続けています。また、地域アンケートを定期的に実施する中で、身近な要望もたくさん届いています(裏面に一部掲載)。その声が、私の議会での質問の原点となっています。



◀中野共立病院などの有志スタッフが主催する毎月1回のなんでも相談会。相談員の一人として、毎回、参加しています。次回は、3月23日(木)17:30~19:00の予定です。

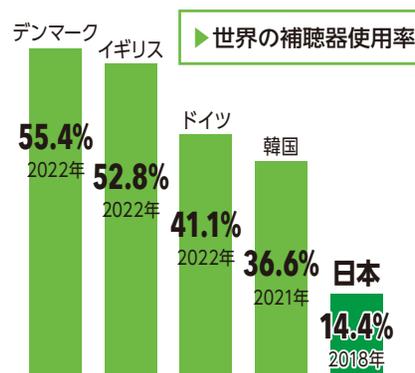
23区でも大きくすすむ 学校給食費の完全無償化を中野区でも

区立小中学校の学校給食費の完全無償化が、新年度の4月から、葛飾区・北区・品川区・荒川区・中央区・世田谷区・台東区が始まります(足立区では中学校で開始)。杉並区でも、「早急に検討をすすめ、結論を出す」としています。昨年秋以降の数か月間で、この流れは大きく加速しています。日本共産党区議団は、12年前から中野区議会で求め続けてきました。中野区でも実現に向け、引き続き、みなさんと力をあわせていきます。



補聴器購入の助成制度実現へ前進

区内では一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えており、「難聴」は大きな課題となっています。日本共産党区議団は繰り返し、議会で質問を続けてきました。そして、ようやく新年度予算で「補聴器助成制度の導入のための検討予算」が盛り込まれ、実現に向け、前進しています。日本共産党都議団も、東京都の補助拡充へ条例提案をおこなっています。使用前後のフォロー体制も含め、よりよい制度となるよう実現まで引き続き、力を尽くします。



▲日本共産党都議団の資料から抜粋



▲2022年春、学習会に参加

これからも、あなたの声をまっすぐ届けます

「自助」や「共助」はすでに限界に達しています。一番身近な区政が、あなたの暮らしや生業を支える防波堤となり、「公助」の役割をしっかりと果たすよう、これからも地域の声を区政へまっすぐ届け、施策充実・制度改善へ力を尽くしていきます。



▲任期中、最後の質問に立ちました(2月21日予算特別委員会)



▲日本共産党区議団で区長への申し入れ

議会質問に加え、その都度、改善が必要な課題を区長や教育長に対して申し入れ、みなさんの声を届けています。新型コロナ対策や物価高騰対策など、みなさんとともに多くのことを実現することができました(裏面に一部掲載)。

たくさんの大事な声を
ありがとうございました!

地域アンケートマップ

定期的実施している地域アンケートで寄せられた声をマップにまとめました。「アンケートで住民の声を聞こうとしていることは大事なことだと思います」「アンケートをするだけでなく、このように報告してくれるのはいいですね」などの声をいただきました。また、「いつも駅頭などで姿をみているので、今回初めて協力しました」という方も多くいらっしゃいました。アンケート結果をまとめた区政報告はQRコードからご覧いただけます。



アンケート結果

地域アンケートへのご協力ありがとうございました!

今年3～5月にかけて実施したアンケートでは、300人近い方から返信をいただきました。新型コロナウイルス対策では、検査体制の拡充や積極的な治療の推進など、様々な課題が浮き彫りになりました。同時に、地域課題や要望も具体的に記されていました。多くの声を寄せいただいたことに感謝申し上げます。今後も、ぜひ、あなたの声に学びてください。

名勝若狭公園の緑木は大切に
寄せられた声：若狭公園の再整備では、強引な緑木の伐採はやめてほしい。現状と課題：道庁が若狭公園の再整備を断念した。道庁長官の意向に基づき、前区長のもとで決定された再整備計画は白紙撤回となり、現在、区民委員参加のもと、保存活用協議会が検討されている。

旧上高田小学校の跡地活用は住民みんなで協議を
寄せられた声：遊園地、また、児童ホームや子どもの居場所などとして、どう活用するか、地域の声をしっかりと聞いてほしい。現状と課題：「区立小中学校施設整備計画(25年度)」では、2026(令和8)～2028(令和10)年度にかけて、第七中学校の跡地をこの区民が決定している。その後は決定する。跡地活用については、地域の声が反映されるよう求めたい。

上高田四丁目団地換装を含む地区計画は丁寧な合意形成を
寄せられた声：団地を知らない人も多く、丁寧な説明とともに住民の意見をしっかりと聞いてほしい。現状と課題：団地の緑化とともに、都市計画課や区民委員の意見を踏まえて、9月半ばに2回の説明会が予定されています。しかし、「中野区は住民のつよつよの疑問や不安に真摯に対応し、世帯単位を大規模にしたまづくり」と、区議会でも求めました。

道路の安全対策を
寄せられた声：桜が池通りと上高田通りが交差する場所をはじめ、夜間視界が悪い、一時止まり通行する車や自転車が多く、一時停止の設置や安全対策を検討してほしい。現状と課題：カーブミラーの設置や警察の巡回など、できる対策はないか、警察や中野区とも協議をしています。

桜山通りJRS土手の桜と菜の花の景観を大切に
寄せられた声：桜山通りの桜、残せる桜は大切にしたい。現状と課題：これまで、責任区長とともに、桜山と菜の花の景観を守るために住民の皆さんと力をあわせてきました。引き続き、中野区や市にも働きかけていきます。

学校の安全対策・環境整備を
寄せられた声：学校の校舎により、春から夏の通学道が狭くなった。通学時の安全対策が必要。早稲の小学校の給食調理室も1日も早くおこなってほしい。現状と課題：いずれも前区長のもとで学校施設整備計画により、完了しおこなわれています。また、給食調理室はすでにありましたが、現状で可能な対策を引き続き、求めていきます。

新井薬師公園の整備所の対策を
寄せられた声：新井薬師公園に設置された保護柵から、子どもが落ちた。分断された公園は、新井薬師公園・若狭公園・平和の公園など区民も公園です。特に、新井薬師公園は児童もそばにあるため危険が感じられます。中野区へ声をかけています。

早期の森公園の活用は利用者などの声を反映したものに
寄せられた声：早期の森公園の多目的運動広場の個人利用を希望してほしい。現状と課題：現在、個人利用は、毎週水・土曜日の13～17時となっています(現在は19時まで)。また、団体利用の予約制に予約がない場合は、営業を中止し、自由利用期間のみにしてあります。公園内の他の部分もまた、公園利用者の声をきくと反映されるよう、引き続き、求めていきます。

●この間の相談より

新井薬師門前交差点(新井1・5丁目と上高田2丁目に囲まれた交差点)の歩車道境にあるブロックにつまずく方が多いとの相談が寄せられました。実際に調査をおこなうと、このブロックに気づかず、少ない方がつまずいたり転倒していることがわかりました。早速、中野区の道路課に相談し、ポールと反射板が設置されました。声を寄せて下さった方に伺うと、この設置以降は、安全が保たれているとのこと。引き続き、身近な要望をお寄せください。ともに力をあわせませう。



みなさんとともに実現できたこと

●子どもの貧困実態調査→施策へ

日本共産党区議団は、「子どもの貧困調査」を繰り返し提案し、実施に至りました。その調査結果がベースとなり、就学援助費基準の引き上げや、子ども食堂支援、ひとり親世帯支援、学習支援など、区の事業展開へ実を結びました。現在、「子どもの貧困対策実行計画」を含む「子どもの総合計画」の策定を行っています。

▶食料の困窮の経験について

中野区生活困窮層(小学校高学年)

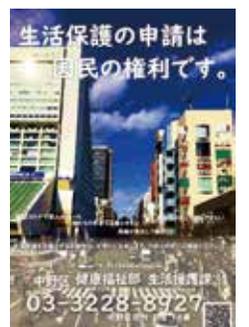


生活困窮層の
75.8%が
食料の困窮
経験あり

出典：中野区子どもと子育て家庭の実態調査報告書

生活困窮層とは：①低所得 ②家計の逼迫 ③子どもの体験や所有物の欠如のうち2つ以上の要素に該当する層

- 新型コロナウイルス対策の拡充(PCR検査体制の確立、医療機関や介護事業所などへの支援、中野区独自の給付金など)
- 介護保険料の値上げストップ(3年に一度改定される保険料を2021年に値上げストップ)
- 区立保育園・幼稚園、児童館の存続(前区政のもとでの全廃計画の見直し)
- 公条例の制定
- 生活保護ケースワーカーの増員、制度周知のポスター作成 など



浦野さとみプロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(42歳)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野区立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(厚生委員会、危機管理・感染症対策調査特別委員会(委員長)に所属)。趣味：竹富島への旅行、ゆずさんや秦基博さんのライブに行くこと、ソフトボール、野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。
弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。
(弁護士による無料法律相談も実施中です)

